

ライフサイエンスで活躍する生きものたち

—マウス、魚、植物、酵母、培養細胞、研究者—
どのように使われ、何がわかるのか？

2022年7月16日(土)13:30～

オンサイトおよびオンライン同時配信

対象 高校生向けですが、どなたでも参加して頂けます
場所 伊藤謝恩ホール（東京大学本郷キャンパス内）



現地参加登録フォーム

定員 100名 締切 7/12(火)

<https://forms.gle/B4benULWMJddYjcY8>

※現地参加は高校生を優先します

※会場内では感染症対策を行っています。ご理解・ご協力をお願いいたします

※感染症流行状況に応じ、主催者の判断によりオンラインのみに変更する場合があります



Zoom参加登録フォーム

定員 500名

<https://forms.gle/GpZ7q8zeE2J443jY8>

事前登録制
入場無料

生物学や医学を含むライフサイエンスでは、さまざまな生物が研究に使われています。マウスはもちろんのこと、酵母や魚の研究によって体のしくみや病気の原因が解明されることもあります。私たちのグループは、いろいろな生物を使って「オートファジー」などの細胞内分解について研究しています。このシンポジウムでは、それぞれのモデル生物にどのような特徴があり、その研究からどのようなことがわかるのかをわかりやすく説明します。そして、生物の秘密を解き明かす生物、すなわち研究者の実態についても紹介します。後半は、パネルディスカッション形式でみなさんからの質問にお答えしたいと思います。

(東京大学医学部・大学院医学系研究科 教授 水島昇)

ライフサイエンスの研究に興味があるみなさん、お待ちしております！



パートⅠ 13:30 - 15:50

	13:30 - 13:35		はじめに	水島昇
	13:35 - 13:55	マウス	哺乳類の研究の定番	江口智也
	13:55 - 14:15	小型魚類	育てやすく観察しやすい	森下英晃
	14:15 - 14:35	培養細胞	体の外でも生きている	本田郁子
	休憩 15分			
	14:50 - 15:10	酵母	細胞の理解に大活躍	山本林
	15:10 - 15:30	植物	地球と研究を動かす支える	齊藤知恵子
	15:30 - 15:50	研究者	謎解きの主役の実態は？	水島昇
	休憩 15分			

パートⅡ 16:05 - 16:45 パネルディスカッション

司会：水島昇

パネリスト： 江口智也 森下英晃 本田郁子 山本林 齊藤知恵子 境祐二

